

東北大学災害科学国際研究所
令和6年能登半島地震に関する速報会

2024年1月1日16時頃、令和6年能登半島地震（最大震度7、M7.6）およびそれに伴う津波が発生し、甚大な被害をもたらしました。東北大学災害科学国際研究所は、震災直後からこの地震・津波の調査・解析・可能な支援を進めており、これまで得られた知見に関する速報会を、下記のとおり公開で開催します。

日時： 2024年1月9日（火）13:00～15:30 ※最長16:00まで
会場： ハイブリッド形式（災害科学国際研究所棟多目的ホール + ZOOM）
下記フォームから要・事前申し込み。申込締切：2024年1月9日（火）8:00am
<https://forms.gle/DEy8ZLB4ntke71pK9>

プログラム（予定）

司会：栗山進一

開催挨拶（5分） 大野英男（東北大学総長）オンライン
趣旨説明（5分） 栗山進一（東北大学災害科学国際研究所所長）

1. 地震メカニズム解説と現地報告

- ①地震発生場と余震活動、長期予測の問題点（20分） 遠田晋次
- ②津波災害の即時解析と現地調査について（15分：8分越村俊一発表動画、7分マズエリック口頭発表） アドリアノブルーノ、マズエリック、永田彰平、越村俊一
- ③穴水町と七尾市の現地調査結果（建物・地盤関係）（15分） 柴山明寛、榎田竜太、森口周二、呉修一（富山県立大学）

2. 学際的情報提供及び連携・実践の報告（各6分）

○理学・工学

- ①今次津波の特性と被害状況 今村文彦、サッパシー アナワット
- ②SAR画像解析による地盤変動の特徴 福島洋
- ③地震動特性 大野晋

○人文社会学

- ①文化遺産防災マップから推定する文化遺産の被害状況 蝦名裕一
- ②令和6年能登半島地震における即応的・継続的学校教育支援：学校教育関連情報の集約と発信 齋藤玲、小田隆史（東京大学）、桜井愛子、福島洋、佐藤健

③災害時の多様なニーズ ゲルスタ ユリア

○医学

①被災地の医療ニーズと災害医療対応 江川新一、佐々木宏之

②インクルーシブ防災と防災コミュニケーション 栗山進一

○防災実践と連携

①国内外との連携 小野裕一

②東北大学との連携、現地調査等について 藤原広行（防災科学技術研究所）

3. 東北大学より報告

東北大学の対応状況について 植木俊哉（東北大学理事）オンライン（10分）

4. 全体質疑（20分） 主に研究者、防災関係者、一般の方々

5. 質疑応答（30分） 報道機関の方々

※プログラム中、特に記載のない発表者は東北大学災害科学国際研究所所属

※演題名あるいはプログラムは変更の可能性があります。

【関連ウェブサイト】

東北大学災害科学国際研究所ホームページ

<https://irides.tohoku.ac.jp/>

令和6年能登半島地震 特設ページ

https://irides.tohoku.ac.jp/research/prompt_investigation/2024noto-eq.html

【問い合わせ先】

東北大学災害科学国際研究所 広報室

メール：koho-office@irides.tohoku.ac.jp

電話：022-752-2049

以上